

◆授業のポイント◆

- ・ 「教えて考えさせる授業」を取り入れた学習過程の工夫
- ・ 主体的に数学的活動に取り組ませる手立ての工夫

## 数 学 科 学 習 指 導 案

学 級 1年1組 (男子21名 女子18名 計39名)  
 場 所 1年1組教室 (1年棟3階)  
 授業者 教 諭 窪 亮 介

- 1 単元 平面図形  
 2 題材 線対称と点对称  
 3 本時の実際 (1 / 13)

(1) 目標

- ① 図形の対称性に関心をもつことができる。 [関心・意欲・態度]  
 ② 線対称な図形を見つけることができる。 [見方・考え方]  
 ③ 線対称な図形を作ることができる。 [技能]  
 ④ 線対称な図形の意味を理解することができる。 [知識・理解]

(2) 展開

過程	学 習 活 動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて
導 入	1 学習問題 【学習問題】 「麻の葉」の模様の中に隠れている図形に共通する特徴は何だろう。	10分 一斉	○ 小学校での既習事項を想起させるとともに、平面図形の学習に対する、興味・関心を高めさせる。 ◎ 「麻の葉」の模様からたくさんの図形を見つけることができたか。 ※ デジタル教材を活用する。
	【学習課題】 「麻の葉」の模様の中に隠れている図形を作ってみよう。		
展 開	2 教える場面 《個人理解》 ・ 折り紙を折って、切り取ることで、対称な図形ができることを知る。 ・ 「線対称」や「対称軸」の意味を知る。	10分 一斉	○ 二等辺三角形やひし形を作らせる。 ○ 操作活動を通して、図形の対称性に着目させる。 [見通し] ○ 線対称な図形の意味を自分の言葉で表現し、ペアで互いに説明させる。 ○ グループや全体で紹介しながら、対称軸を考えさせる。 ※ 電子黒板を利用し全体で確認する。 ◎ 対称軸を見つけることができたか。 ○ 校章や都道府県のマーク、アルファベットなどを紹介する。 ※ 身の回りにある図形や模様に対する数学的な美しさを共感させる。 ○ 本時の「わかったこと」「疑問に思ったこと」をまとめさせる。 [振り返り]
	3 考えさせる場面 《理解確認》 ・ 線対称な図形の意味を説明する。 《理解深化》 ・ 「麻の葉」の模様の中にある線対称な図形を確認する。	15分 個 ペア	
	4 評価問題 (1) 線対称な図形に、対称軸をかきいれなさい。 (2) 身の周りにある線対称な図形をさがしなさい。	10分 個	
	5 まとめ (自己評価) 「授業でわかったこと」「今後やってみたいこと」をノートにまとめ、学習を振り返る。	3分 個	
終末	6 次時予告 線対称な図形の性質をさらに調べていくことを知る。	2分 一斉	○ 家庭学習で行う復習のための課題と次時の授業の予習を指示する。

(3) 評価

- ① 図形の対称性に関心をもつことができたか。  
 ② 線対称な図形を見つけることができたか。  
 ③ 線対称な図形を作ることができたか。  
 ④ 線対称な図形の意味を理解することができたか。